学校番号	310

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	教員作成のプリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

新しい医学や生物学の知識や考え方を学べるだけではなく、積極的に取り組むことで、卒業後大学や専門学校で授業を受ける際に必要なノートの作り方やレポートの作成の仕方を学ぶことができる。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
ヒトの体やその他の生物の各器官の形・はたらき、位置関係等の基本的な知識を身に着ける。
【思考力、判断力、表現力等】
模型の観察やペーパークラフトの作成、観察実験を通して文章や図による学習以上に臨場感をもった理解へとつなげる。また、体の構造と居住環境との関係から進化の流れについて考え、その内容をレポートして文章化することにより知識を整理し、他者への説明能力の向上へとつなげる。
【学びに向かう力、人間性等】
積極的に実験や実習に向かい、得た知識を他の受講者と共有し、貪欲に知識を得ようとする姿勢・態度を身に着ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	教科書の図や文章でしか学んで来なかったヒトの体のはたらきや形を、模型を見たりペーパークラフトを作成したり、他の生物の解剖実験など様々な実習を通して理解する。 また、クロームブックを使用してレポート作成に必要な文献の調べ方等を習得する。	実験や調べ学習から得た知識をレポートとしてまとめることで、文章表現の技量を身につけ、より深い理解へと結びつける。	実験・実習から必要な知識や考え方を積極的に得ようとすることで、最新の医学的知識や技術開発の背景などへの想像力をもって考察しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期		古代生物 煮干しの解剖	a:模型・実験から正しく知識を導く 生物によるからだの構造の違い、進化の流れ b:得た知識・事象を他者に伝わるよう文章化 c:興味・関心を持ってレポート作成に臨む	考査とレポートの内容評価	レポートの作成にあたり内容の充実に努めている	ノートの活用だけではなく他の情報も利用しようと努める
2学期		人体のペーパークラフト作成 腎臓の進化 生命の誕生	a:模型・実習から正しく知識を導く ヒトの臓器の配置、他の動物との違い、進化の流れからの卵生・胎生の違い b:得た知識・事象を他者に伝わるよう文章化 c:興味・関心を持ってレポート作成に臨む	考査とレポートの内容評価	レポートの作成にあたり内容の充実に努めている	ノートの活用だけではなく他の情報も利用しようと努める
3学期		遺伝子以外のDNAの役割 DNAの抽出実験	a:実験から正しく知識を導く DNAの働きと構造、遺伝子実験の注意点、遺伝子治療の実状と課題 b:得た知識・事象を他者に伝わるよう文章化 c:興味・関心を持ってレポート作成に臨む	考査とレポートの内容評価	レポートの作成にあたり内容の充実に努めている	ノートの活用だけではなく他の情報も利用しようと努める

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度